

栃木県わがまち未来創造事業実績書(市町総括表)
【 単独 】

市町名	日光市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
1	霧降隠れ三滝ハイキングコースを含む遊歩道の再生プロジェクト				1,502,730	1,500,000	3,002,730
	うち市町支出額				1,000,000	0	1,000,000
	うち県交付金				500,000	0	500,000
2	日光手打ちそばの会事業				3,497,835	2,660,000	6,157,835
	うち市町支出額				1,800,000	1,800,000	3,600,000
	うち県交付金				900,000	900,000	1,800,000
3	第20回日光ツデーウォーク		8,222,693	8,282,019	8,487,569	8,260,000	33,252,281
	うち市町支出額		6,066,000	6,140,000	5,970,000	6,140,000	24,316,000
	うち県交付金		1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	3,000,000
4	ライトアップ日光2019			2,678,418	2,632,504	2,500,000	7,810,922
	うち市町支出額			1,200,000	1,200,000	1,200,000	3,600,000
	うち県交付金			600,000	600,000	600,000	1,800,000
5	日光市青少年北海道体験研修事業			3,961,127	3,392,010	3,588,000	10,941,137
	うち市町支出額			3,117,119	2,778,002	2,900,000	8,795,121
	うち県交付金			1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000
6	2019日光フォトコンテスト			3,703,258	2,884,955	1,525,000	8,113,213
	うち市町支出額			2,000,000	1,500,000	1,200,000	4,700,000
	うち県交付金			1,000,000	750,000	600,000	2,350,000
7	第14回日光杉並木マラソン		9,833,814	10,341,441	11,926,015	12,500,000	44,601,270
	うち市町支出額		4,000,000	4,250,000	5,200,000	6,300,000	19,750,000
	うち県交付金		1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	3,000,000
8	第14回日光市駅伝競走大会				1,974,810	1,835,000	3,809,810
	うち市町支出額				1,600,000	1,474,000	3,074,000
	うち県交付金				767,389	737,000	1,504,389
9	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第14回日光杯 全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会				5,711,679	5,600,000	11,311,679
	うち市町支出額				4,674,000	4,000,000	8,674,000
	うち県交付金				1,500,000	1,500,000	3,000,000
10	華厳の滝ライトアップ2019				8,110,016	6,500,000	14,610,016
	うち市町支出額				3,000,000	3,000,000	6,000,000
	うち県交付金				1,500,000	1,500,000	3,000,000
市町計		0	18,056,507	28,966,263	50,120,123	46,468,000	143,610,893
		0	10,066,000	16,707,119	28,722,002	28,014,000	83,509,121
		0	2,000,000	4,600,000	9,517,389	6,837,000	22,954,389

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	霧降隠れ三滝ハイキングコースを含む遊歩道の再生プロジェクト
事業主体の名称	日光森林警備隊
代表者の名称	代表 室町 直
事業主体の所在	日光市所野1535-4
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的:霧降地区のハイキングコースを含む遊歩道を利用した観光振興を目的とする。 設立年月日:平成26年4月1日 構成員等:各種団体代表、関係者等13名
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>日光市では、少子高齢化や若者の市外への転出などで人口の流出超過が続いており、流出抑制や人を呼び込んでいくことが急務となっている。</p> <p>そのような中、霧降地区では、豊富な自然を活かしたトレッキングやアイスクライミング等のアウトドアが盛んに行われ、自然を求めて多くの国内外の観光客が訪れており、地域資源を活かした人の呼び込みに一役買っている。</p> <p>しかし、コース等の整備はボランティアや地域住民が行っており、整備が不十分な箇所も多いことが課題である。そのため、観光客が安心して訪れることができ、再び訪れたいくなるような魅力溢れる観光地としていく必要がある。</p>
事業目的	観光客が安心して訪れることができる環境を整備し、豊かな自然を体験してもらうことで、日光の魅力発信に繋げ更なる交流人口の増加定住化を目指す。
事業概要	<p>ハイキングコース等の整備のほか、体験型・交流型の観光スタイルを推進する。</p> <p>【令和元年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 霧降隠れ三滝ハイキングコースの整備・橋の管理 草刈りや木の撤去 <p>【KPI向上の取組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> 整備することにより、観光客が安心して訪れることができ、豊富な自然の魅力をより感じてもらえるような、やさしい観光のまちづくりを促進した。 地域のアウトドア会社のツアーをとおして、実際に自然を体感してもらい、日光の自然の魅力発信し、交流人口の増加や定住化を推進した。 <p>【令和2年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度の取組成果を踏まえ、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内</p> <p>H27年度:14位 ⇒ R1年度:10位以内【H30年度実績11位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ハイキングコースの整備 草刈りや木の撤去 	<ul style="list-style-type: none"> ハイキングコースの整備 遊歩道観光マップの整備 草刈りや木の撤去 	<ul style="list-style-type: none"> ハイキングコースの整備 遊歩道観光マップの整備 草刈りや木の撤去 	/	<ul style="list-style-type: none"> ハイキングコースの整備 遊歩道観光マップの整備 草刈りや木の撤去
事業費	1,502,730	1,500,000	1,500,000	4,502,730	1,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	0	0	1,000,000	0
うち県交付金	500,000	0	0	500,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	502,730	1,500,000	1,500,000	3,502,730	1,500,000

市町担当情報

担当課(クール・保)名	地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5137
E-mail	issei-t@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	霧降隠れ三滝ハイキングコースを含む遊歩道の再生プロジェクト	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	精算額(見込)	備考
市補助金	1,000,000	うち県費500,000円
自主財源	502,730	
計	1,502,730	

2 支出の部

科目	精算額(見込)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
手数料	7,735	6,000	3,000	1,735	○振込手数料2,730円 ○送料5,005円、
委託料	1,200,000	700,000	350,000	500,000	○丸太橋補修100,000円 ○支障木伐採540,000円 ○伐採木搬出300,000円 ○土砂撤去260,000円
消耗品 備品購入費	294,995	294,000	147,000	995	○管理、清掃等の備品 ・ヘルメット@8,222×6個=49,332円 ・ハーネス@7,843×16個=125,488円 ・セラックストラップ@24,035×5ペア =120,175円
				0	
				0	
				0	
計	1,502,730	1,000,000	500,000	502,730	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光手打ちそばの会事業
事業主体の名称	日光手打ちそばの会
代表者の名称	代表:我妻 一義
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:市内の手打ちそばの普及、発展に寄与するとともに、本会の会員相互の親睦を深める。 ・設立年月日:平成20年6月30日 ・構成員等:会員…74、賛助会員…18、支部…4
当該事業に係る地域の現状と課題	日光市は、全国有数のそばの生産地である栃木県の中でも、作付面積、収穫量ともに県内第1位である。市内には、その豊富な生産量と日光山麓からのおいしい水を使った手打ちそば店が自慢のそばで店を構え、日光のブランド食として市民に親しまれている。しかし、市内事業者の高齢化に伴い、作り手が減少している。そのため、手打ちそばの魅力発信とともに担い手の確保が課題である。出店するイベントやPR方法など、これまで以上に事業の周知及び手打ちそばの魅力発信に力を入れる必要がある。
事業目的	関係者の連携、意見交換、情報提供などを積極的に行い、市内での自主イベントを開催、その他市内外のイベントに出店することで日光市の手打ちそばの普及を目指すとともに、そばづくりの担い手の確保につなげる。
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>自主イベント及び市内外のイベントにて出店し、日光の手打ちそばの魅力を発信した。</p> <p>○自主イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光夏の新そばまつり(日光夏の新そば試食会を含む) 開催日:令和元年5月29日(土)~5月30日(日) ・そば喰い稲荷新そばまつり(日光あおいそば試食会を含む) 開催日:令和元年11月2日(土)~3日(日) ・日光氷温湯熱そば試食会 開催日:令和2年2月中旬 <p>○イベント出展</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回八溝そば街道そばまつり 開催日:令和元年5月18日(土)~5月19日(日) ・手打ちそば早食い世界選手権 開催日:令和元年5月18日(土)~5月19日(日) ・農村誘致プロモーションキックオフイベント(県民の日イベント) 開催日:令和元年6月15日(土) ・ツール・ド・NIKKO2019 開催日:令和元年9月15日(日) ・2019日光そばまつり 開催日:令和元年11月15日(金)~17日(日) ・世界遺産サミット 開催日:令和元年11月22日(金) <p>【KPI向上の取り組み】</p> <p>イベントにて、手打ちそばとともに事業主体のPRを行うことで、更なる情報発信・地域活性化につながる仕掛けづくりを行った。新しく事業PRチラシの「日光そばの四季物語」を作製し、新聞社等を通じて広く周知を行った。</p> <p>【令和2年度】</p> <p>令和元年度の取組成果を踏まえ、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として継続・実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内</p> <p>H27年度:14位 ⇒ R1年度:10位以内【H30年度実績11位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	日光手打ちそばの会事業	日光手打ちそばの会事業	日光手打ちそばの会事業		日光手打ちそばの会事業
事業費	3,497,835	2,660,000	2,660,000	8,817,835	2,660,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,800,000	1,800,000	1,800,000	5,400,000	1,800,000
うち県交付金	900,000	900,000	0	1,800,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,697,835	860,000	860,000	3,417,835	860,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一義
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5137
E-mail	issei-t@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。	
単位事業名	日光手打ちそばの会事業		
対象年度	令和元	年度	
科目	精算額(見込)	備考	
市補助金	1,800,000	うち県費900,000円	
会費	414,000	正会員@5,000×72店=360,000円 賛助会員@3,000×18店=54,000円	
イベント収入	546,980	八溝そばまつり:57,530円 夏の新そばまつり出店料:135,000円 日光そばまつり出店料:60,000円 ガレット売り上げマージン:10,350円 世界遺産サミット運営費:100,000円 団体2年前イベント運営費:184,100円	
雑収入	396,009	預金利子:9円 のぼり旗売上代:6,000円 視察研修会現金取扱残金:355,000円。 上都賀農振作成カレンダー掲載店舗集金:35,000円	
繰越金	340,846	前年度繰越金	
計	3,497,835		

2 支出の部

科目	精算額(見込)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
旅費	641,520	0	0	641,520	視察研修費
消耗品費	11,706	0	0	11,706	事務消耗品購入費
燃料費	12,042	0	0	12,042	イベント出店時ガス使用料
通信運搬費	82,998	80,000	40,000	2,998	メール便代
広告費	236,400	230,000	115,000	6,400	○夏の新そばまつり広告掲載料86,400円 ○日光例幣使そば街道広告掲載料40,000円 ○日光そばまつりレポート中継費110,000円
手数料	6,550	0	0	6,550	振込手数料
委託料	105,364	100,000	50,000	5,364	○HPサーバーレンタル料・保守管理料75,364円 ○イベント用備品倉庫引越し費30,000円
使用料及び貸借料	6,000				イベント用備品倉庫使用料6,000円
原材料費	1,839,009	1,390,000	695,000	449,009	イベント用食材料費(そば、つゆ等)1,838,009円
負担金	164,783	0	0	164,783	○賀詞交歓会費6,000円 ○初穂料105,000円 ○日光そばまつり出店店舗助成費10,000円
次年度繰越金	391,463				
計	3,497,835	1,800,000	900,000	1,300,372	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	第20回日光ツアーウォーク
事業主体の名称	日光ツアーウォーク実行委員会
代表者の名称	会長(日光市長) 大嶋 一生
事業主体の所在	日光市御幸町4番地1
事業主体の概要	・団体の目的:日光ツアーウォークの開催 ・設立年月日:平成11年5月1日 ・構成員等:日光市、(一社)日光市観光協会、NPO法人栃木県ウォーキング協会、栃とちぎテレビ 他 関係団体代表者等 合計67名
当該事業に係る地域の現状と課題	日光市では、少子高齢化や若者の市外への転出などで人口の流出超過が続いており、流出抑制や人を呼び込んでいくことが急務となっている。 日光地域は、世界遺産「日光の社寺」や大谷川・杉並木などの自然を有し、多くの観光客が訪れているが、その数は季節によって大きく変動するため、いかにして入込客が落ち込む時期(夏季と紅葉シーズンの狭間にあたる9月期)において誘客していくか、さらには、観光のみでなく滞在してまちを知ってもらうかが課題となっていた。 そこで、観光地をまわりながらまちを歩くことでより深く日光を知ってもらうツアーウォークを例年この時期に実施してきたが、更なる観光誘客の促進のため、平成29年度からわがまちを活用し、事業の周知に力を入れて行ってきた。一定の成果は見えているものの、より観光誘客につなげるため、これまで以上に地域資源を活かした体験型・交流型の観光スタイルを推進する必要がある。
事業目的	世界遺産に登録されている東照宮、輪王寺、二荒山神社を中心とした「日光の社寺」や豊かな自然の中にある「日光路」を歩くなど、地域の自然・歴史・文化など日光市の魅力あふれる着地型観光により、交流人口の増加を図る。
事業概要	【令和元年度】 【概要】 2日間に渡って、ウォーキング大会を実施した。距離に応じて1日あたり3コースを設定した。コースは日光の社寺をはじめ、豊かな自然の中を歩くコースを設定した。 日時:令和元年9月7日(土) 午前8時30分～ 世界遺産「日光の社寺」コース(5km 10km 20km) 平成元年9月8日(日) 午前8時30分～ ギネスブック「日光杉並木」コース(5km 13km 20km) 会場:日光市日光総合会館(スタート・ゴール) 参加者数:総計1,683名 ●7日(土) 5km スタート → 開山堂 → 二社一寺 → 田母沢御用邸記念公園 → ゴール 10km スタート → 開山堂 → 滝尾神社 → 二社一寺 → 田母沢御用邸記念公園 → 大日橋 → 化地蔵・徳満方淵 → ゴール 20km スタート → 開山堂 → 滝尾神社 → 稲荷川砂防堰堤群 → 二社一寺 → 田母沢御用邸記念公園 → 清滝神社 → やしおの湯 → 大日橋 → 化地蔵・徳満方淵 → ゴール ●8日(日) 5km スタート → 稲荷町防災公園 → 日光杉並木 → ゴール 13km スタート → 稲荷町防災公園 → 日光杉並木 → だいや体験館 → 大谷川 → ゴール 20km スタート → 稲荷町防災公園 → だいや体験館 → だいや川公園 → 市緑ひろば → 日光杉並木 → 大谷川 → ゴール 【IPW上の取り組み】 5km、10km、20kmと様々なコースを設定することにより、多くの人が参加しやすいよう取り組んだ。 ・東照宮、輪王寺、二荒山神社を中心とした世界遺産「日光の社寺」をコースに取り入れ、実際に一歩一歩体験することにより、文化財豊かな日光市の魅力を幅広く発信し、交流人口の増加、定住化を推進した。 ・1日目に世界遺産「日光の社寺」コース、2日目にギネスブック「日光杉並木」コース、と趣の異なる2種類のコースを設定し、長期滞在を促すことにより、地域経済の活性化や日光市の魅力を発信する機会の増加を図った。 【令和2年度】 令和元年度の取組成果を踏まえ、地域ブランドの更なる向上に寄与する事業として実施する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H27年度:14位 → R1年度:10位以内【H30年度実績11位】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第18回日光ツアーウォークの開催	第19回日光ツアーウォークの開催	第20回日光ツアーウォークの開催		第21回日光ツアーウォークの開催
事業費	8,222,693	8,282,019	8,487,569	24,992,281	8,260,000
市町支出金 (ソフト事業分)	6,066,000	6,140,000	5,970,000	18,176,000	6,140,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	2,156,693	2,142,019	2,517,569	6,816,281	2,120,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5137
E-mail	chiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	第20回日光ツアーウォーク	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	精算額(見込)	備考
観光使用料	2,263,700	参加料2,132,300円 参加者弁当代131,400円
市支出金	5,970,000	日光市補助金(うち、県交付金1,000,000円)
繰越金	253,849	平成30年度繰越金
雑入	20	預金利息等
計	8,487,569	

2 支出の部

科目	精算額(見込)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町	県交付金		
旅費	14,200	14,000	7,000	200	ウォーキング大会視察旅費、会議旅費
消耗品費	8,158,005	190,000	95,000	6,038	○紙コップ等61,290円 ○荷造りひも2,502円 ○草刈機用カッター4,860円 ○草刈機用チップソー10,800円 ○チェーンソーチェーン代4,950円他
食糧費	829,771	0	0	829,771	○参加者弁当177,000円 ○協力団体弁当139,130円 ○接待所用水等49,741円 ○豚汁代451,200円
通信運搬費	12,266	12,000	6,000	266	臨時電話使用料
手数料	57,568	50,000	25,000	7,568	○汲取手数料41,800円 ○WEB受付手数料15,768円
保険料	132	0	0	132	労働保険料
委託料	6,878,030	5,534,000	782,000	1,344,030	○参加者募集業務1,836,000円 ○製作業務2,621,600円 ○運営業務572,400円 ○会場設営業務1,633,230円 ○ゴミ収集運搬業務64,800円 ○特別拝観委託料150,000円
負担金、補助及び交付金	170,000	170,000	85,000	0	大会登録料 ○関東甲信越マーチングリーグ100,000円 ○日本市民スポーツ連盟20,000円 ○日本ウォーキング協会50,000円
次年度繰越金	329,564	0	0	329,564	
計	8,487,569	5,970,000	1,000,000	2,517,569	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	ライトアップ日光2019
事業主体の名称	ライトアップ日光実行委員会
代表者の名称	委員長 廣田 博弥
事業主体の所在	日光市宝殿66番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:ライトアップ日光の開催 ・設立年月日:平成7年4月1日 ・構成員等:日光市・(一社)日光市観光協会・日光商工会議所等 37名
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>日光市では、少子高齢化や若者の市外への転出などで人口の流出超過が続いており、流出抑制や人を呼び込んでいくことが急務となっている。</p> <p>世界遺産地区は、二社一寺に代表される歴史的建造物が現存し、年間たいへん多くの観光客が訪れる、日光市を代表する観光スポットである。世界遺産の周辺には門前町が形成され、飲食物産業をはじめとする多くの商店が存在するものの、観光客の多くは昼間に観光し、夜間にはまちを歩く人の姿はほとんどなくなることから、夜間になると早々と閉店となってしまいう店舗も多く、せっかくの観光資源が生かし切れていないのが現状である。</p> <p>そこで、夜間の飲食物産業の振興及び宿泊して滞在型観光をする観光客を増やすため、夜間の観光の目玉として当事業を実施してきたが、更なる地域の魅力発信を図るため、平成30年度からわがまちを使い、当該事業及び地域の魅力の周知に努めた。一定の成果は見えているものの、より地域の魅力を発信するため、これまで以上に地域資源を活かした体験型・交流型の観光スタイルを推進する必要がある。</p>
事業目的	世界遺産の建造物を中心にライトアップすることにより、幻想的かつ神秘的な夜の社寺を演出する。それと同時に周辺の門前町を含めたさまざまなイベントを行うことで、相乗的に世界遺産地区の新たな夜の魅力を創出し、日光地域の活性化を図る。
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>紅葉シーズンの3日間 11月8日(金)～11月10日(日)</p> <p>来場者人数 総計10,244人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・二社一寺建造物のライトアップ ・来場者の導線に行灯の設置 ・田母沢御用邸記念公園園庭のライトアップ ・神社境内でのフードコートの設置 ・和太鼓の演奏 ・フォトコンテストなど <p>【KPI向上の取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日光が誇る二社一寺とそれを取り囲む門前町を、夜間、灯りを灯すことで昼間とは異なる見え方で観光誘客を行った。 ・モバイルスタンプラリーを行い、観光客の満足度高上を図った。 <p>【令和2年度】</p> <p>継続してライトアップ日光2020を開催予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内</p> <p>H27年度:14位 → R1年度:10位以内【H30実績11位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	ライトアップ日光2018の開催	ライトアップ日光2019の開催	ライトアップ日光2020の開催		ライトアップ日光2021の開催
事業費	2,678,418	2,632,504	2,500,000	7,810,922	2,500,000
市町支出金(ソフト事業分)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	3,600,000	1,200,000
うち県交付金	600,000	600,000	600,000	1,800,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,478,418	1,432,504	1,300,000	4,210,922	1,300,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一農
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5137
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。	
単位事業名	ライトアップ日光2019		
対象年度	令和元	年度	
1 収入の部			
科目	精算額(見込)	備考	
負担金	600,000	日光商工会議所、(一社)日光青年会議所	
市支出金	1,200,000	日光市補助金 うち県費600,000円	
一般寄附金	712,000	(一社)日光市観光協会、二社一寺等協賛金	
出店料	80,000	ブース出店料	
雑入	40,504	預金利子等	
計	2,632,504		

2 支出の部

科目	精算額(見込)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
賃金	11,430	0	0	11,430	当日スタッフ賃金
報償費	185,489	100,000	50,000	85,489	○出演料及び楽曲製作費130,000円 ○フォトコンテスト賞品58,423円
消耗品費	22,045	20,000	10,000		○ライト電池19,745円 ○収入印紙2,300円
燃料費	99,479	90,000	45,000	9,479	発電機燃料費
食糧費	149,700	0	0	149,700	スタッフ食事代
印刷製本費	288,034	280,000	140,000	8,034	看板・ポスター・チラシ作成
通信運搬費	0	0	0	0	郵券代
広告費	60,000	60,000	30,000	0	ホームページ制作費
手数料	19,586	10,000	5,000	9,586	○振込手数料18,686円 ○ごみ処理手数料900円
保険料	15,000	0	0	15,000	イベント傷害保険
委託料	1,460,423	510,000	255,000	950,423	○照明設置業務1,230,000円 ○放送設備設置業務22,000円 ○観光案内業務150,000円 ○モニュメント制作業務58,423円
使用料及び賃借料	139,686	130,000	65,000	9,686	イベント用品レンタル代
工事請負費	165,000	0	0	165,000	足場工事代
繰越	16,632	0	0	16,632	
計	2,632,504	1,200,000	600,000	1,430,459	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	日光市青少年北海道体験研修事業
事業主体の名称	日光市青少年北海道体験研修事業実行委員会
代表者の名称	会長 齋藤 孝雄
事業主体の所在	栃木県日光市今市本町1番地
事業主体の概要	小学生30,000円×1人 中学生32,000円×3人 ジュニアリーダー32,000円×3人 シニアリーダー32,000円×1人
当該事業に係る地域の現状と課題	本市においては年々人口が減少しており、若い世代の市外への流出が拍車をかけている。当該事業により、次世代を担う青少年が、自ら考え行動できる力、協調性など、リーダーとして必要な力を身につけるとともに、姉妹都市等との交流を通じ、本市の魅力を発信することができる若者の育成を図る必要がある。そのため、平成30年度からわがまちを使い、若者の育成に力を入れた。更なる若者育成及び観光パートナー都市間の友好関係のため継続して事業を行うことが重要である。
事業目的	青少年リーダーを目指している小学6年生、中学1年生や青少年リーダーとして活動している中学生及び高校生が、姉妹都市である苫小牧市、観光パートナー都市である大洗町・俱知安町の方々との交流などをおし、青少年リーダーとしての資質の向上と視野の拡大を図り、併せて姉妹都市間、観光パートナー都市間の友好関係を強化する。
事業概要	【令和元年度】 ○4泊5日の日程で、姉妹都市、観光パートナー都市を訪問した。 ・日時:事前研修会 令和元年6月29日(土)10:00~12:00、令和元年7月13日(土)10:00~15:00 本研修 令和元年7月29日(月)~令和元年8月2日(金) 事後研修会・成果報告会 令和元年8月17日(土)9:30~15:00 ・会場:市内、大洗町、俱知安町、苫小牧市、札幌市など ・参加者:28名 内訳 小学6年生及び中学1年生 16名、ジュニアリーダー(中学生~高校生)3名、シニアリーダー(大学生等)1名、事務局(責任者・指導員を含む)6名、添乗員1名、看護師1名 【KPI向上の取り組み】 ・本研修以外に、事前・事後研修会を実施することで、参加者自身が意見を出し合い、とりまとめて発表するなど、リーダーとして必要な力を身につける機会とした。また、同時に、自分が暮らす日光市を知ることで、地元への愛着意識の向上を図った。 【令和2年度】 ・令和元年度の実績を踏まえながら、継続して実施する予定。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる。 【KPI】若者の転出数(15~19歳)10%減

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	青少年北海道体験研修事業の開催	青少年北海道体験研修事業の開催	青少年北海道体験研修事業の開催		青少年北海道体験研修事業の開催
事業費	3,961,127	3,392,010	3,588,000	10,941,137	
市町支出金 (ソフト事業分)	3,117,119	2,778,002	2,900,000	8,795,121	
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	844,008	614,008	688,000	2,146,016	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5137
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。	
単位事業名	日光市青少年北海道体験研修事業		
対象年度	令和元	年度	

1 収入の部			
科目	精算額	備考	
市補助金	2,778,002	うち県交付金 1,000,000円 (精算後補助金見込額)	
参加者負担金	614,000	小学生30,000円×13人 中学生32,000円×3人 ジュニアリーダー32,000円×3人 シニアリーダー32,000円×1人	
雑入	8	利息	
計	3,392,010		

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報酬	8,000	8,000	0	0	実行委員会、抽選会への出席委員の報酬 @2,000円×4人=8,000円
報償費	68,600	68,600	30,000	0	○報償品 図書カード@5,000円×3人=15,000円 ○謝金@53,600円
旅費	2,305,130	1,691,122	709,000	614,008	○交通費@1,528,150円 ○宿泊費@776,980円
消耗品費	169,829	169,829	50,000	0	○研修用消耗品購入代@115,698円、 ○団員チームキャップ作成(32ヶ)@43,891円 ○手土産購入第@5,400円 ○フェリーポストカード@142円×20円=2,840円 ○大志の誓い@100円×20人=2,000円
食糧費	191,534	191,534	0	0	○研修事業報告書作成@190,234円 ○事後研修交流会用飲物代@1,300円
印刷製本費	161,040	161,040	0	0	研修事業報告書作成1,342円×120部=161,040円
通信運搬費	26,844	26,844	0	0	○通知・成果報告書などの郵送料@20,664円 ○雑費(郵送料)@6,180円
手数料	2,272	2,272	1,000	0	振込手数料@2,272円
保険料	20,020	20,020	0	0	○旅行傷害保険@500円×26人=13,000円 ○旅行変更費用保険@270円×26人=7,020円
委託料	183,600	183,600	90,000	0	○添乗員経費@75,600円×1人=75,600円 ○看護師経費@108,000円×1人=108,000円 ○事後研修交流会日光彫体験代@1,020円×21人=21,420円
使用料及び賃借料	251,360	251,360	120,000	0	○体験活動費@200,380円 ○移動監察用タクシー代@12280円×1台=12,280円 ○携帯電話レンタル代@3,240円×1台=3,240円 ○ミーティング室使用料(苫小牧)@3,240円 ○ミーティング室使用料(札幌)@10,800円 救急医療品購入代@3,781円
医薬材料費	3,781	3,781	0	0	
計	3,392,010	2,778,002	1,000,000	614,008	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名

日光市

事業名

2019日光フォトコンテスト

事業主体の名称

日光フォトコンテスト実行委員会

代表者の名称

委員長 齋藤 勝

事業主体の所在

日光市今市本町1番地

事業主体の概要

・団体の目的:日光市を被写体としたフォトコンテストを開催し、文化的活動の活性化や日光市の観光振興に寄与する。
・設立年月日:2006年
・構成員等:実行委員6名

当該事業に係る地域の現状と課題

広大で豊かな自然環境や世界遺産を持つ日光市であるが、未だ少子高齢化・人口減少が大きな課題となっている。写真をおして日光市の魅力をより多くの人に発信し、豊かな自然や文化遺産等を豊富な観光資源としてPRすることで、日光市のブランドイメージの向上を図る。観光地としての優位性をさらに高めることが、来訪への期待感を醸成し、交流人口を増やし、移住・定住化を推進することに繋がる。平成30年度からわがまちを活用し、地域の魅力発信に努めているが、更なる地域の魅力を発信・発見するためには、継続して実施することが重要である。

事業目的

日光市は四季折々に変化する山々、清涼あふれる峡谷、世界遺産「日光の社寺」や特別天然記念物「日光杉並木街道」、特色ある祭りなど多くの魅力を兼ね備えた地域である。これらを被写体とした日光ならではのフォトコンテストを開催することで、文化的活動の活性化や日光市の観光振興に寄与することができる。また、入賞作品を活用して県内外で展示を行うフォトキャラバン事業や、データベース化したホームページを公開する等のフォトライブラリー事業を行い、広く日光市の魅力を発信する。

事業概要

【フォトコンテスト事業】
応募期間:令和元年11月1日～11月29日
審査日:令和2年1月11日
表彰式/購評会:令和2年2月15日

【フォト活用事業】
ホームページでの全入賞作品公開及び貸出し
1)2018入賞作品展を市内外で開催予定
①令和元年7月 8日～16日(日光市)
②令和元年8月 4日～13日(宇都宮市)
③令和元年8月14日～23日(日光市)
④令和元年8月29日～9月4日(東京都新宿区)
⑤令和2年2月14日～2月25日(日光市)
2)特別写真展を市内外で開催予定(これまでの入選作品から実行委員が選考した50作品を再プリント)
①令和元年 9月13日～19日(東京都中央区)
②令和元年11月 5日～14日(宇都宮市)
③令和元年11月26日～12月6日(日光市)
3)入賞作品データの貸出し
91件

【KPI向上の取り組み】
・世界に誇る日光市の自然や街並み、文化を対象にしたコンテストにすることで、広く日光市の魅力を発信した。
・フォト活用事業では、展示されるパネルのみでなく、ホームページ等データを利用することで広く日光市の魅力を発信した。

【令和2年度】2020日光フォトコンテストを継続的に開催する予定。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる
【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング
H27年度:14位 → R1年度:10位以内【平成30年度:11位】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	平成30年度	令和元年度	令和2年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
	2018日光フォトコンテスト フォト活用事業		2019日光フォトコンテスト フォト活用事業	2020日光フォトコンテスト フォト活用事業	
事業費	3,703,258	2,884,955	1,960,000	8,548,213	1,960,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,000,000	1,500,000	1,200,000	4,700,000	1,200,000
うち県交付金	1,000,000	750,000	600,000	2,350,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,703,258	1,384,955	760,000	3,848,213	760,000

市町担当情報

担当課(グループ)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一哉
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5137
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	2019日光フォトコンテスト	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
日光市補助金	1,500,000	うち県交付金 750,000円
応募料	438,000	438点×@1,000円
繰越金	916,944	前年度繰越金
提供賞金	30,000	公益財団法人日光杉並木保護財団提供「日光杉並木賞」賞金
雑収入	11	預金利子
計	2,884,955	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市町交付金	県交付金		
報償費	391,750	0	0	391,750	○賞金@350,000円 ○賞品代@41,750円
旅費	145,732	0	0	145,732	審査員旅費、会議旅費 @145,732円
消耗品費	4,671	0	0	4,671	○審査会経費@3,510円 ○事務消耗品@4,671円
食糧費	3,510	0	0	0	会議飲物代@3,510円
印刷製本費	342,500	300,000	150,000	42,500	○チラシ・ポスター作製費@184,460円 ○ポストカード作製費@158,040円
通信運搬費	78,406	70,000	35,000	8,406	○郵券代@43,490円 ○作品パネル送料@34,916円
使用料及び賃借料	294,960	280,000	140,000	14,960	会場借上げ料@294,960円
手数料	15,474	0	0	15,474	振込手数料@15,474円
委託料	1,116,264	850,000	425,000	266,264	○審査員委託料@300,000円 ○パネル作製委託@833,996円
次年度繰越金	491,688	0	0	491,688	
計	2,884,955	1,500,000	750,000	1,381,445	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。
具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	第14回日光杉並木マラソン大会
事業主体の名称	日光杉並木マラソン大会実行委員会
代表者の名称	大嶋 一生(日光市長)
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:日光市に全国各地から多くのランナーを迎え、市民とともに歴史的文化遺産である世界一の杉並木の下を走り、身体と心の交流をとおり、日光市のイメージアップを図る。 ・設立年月日:平成6年4月1日 ・構成員等:市内各種団体長等41名
当該事業に係る地域の現状と課題	日光市が有し、ギネスブックにも掲載されている日光杉並木は、国で唯一、特別史跡及び特別天然記念物の両方に登録されており、全国的にも貴重な地域資源となっている。この杉並木の下を走る杉並木マラソン大会は、全国的にも珍しい大会であり、地域のスポーツ振興に資するだけでなく、日光市のPRやイメージの向上に大きく貢献することが期待されているが、十分にアピールできていない。このため、新たな参加者の掘り起こしが課題となっている。そこで、平成29年からわがまちを活用し、HP等を活用して市外からの参加者の増加を図った。一定の成果は見えているものの、十分とは言えないため、更なるPRが必要である。
事業目的	日光市に全国各地から多くのランナーを迎え、市民とともに歴史的文化遺産である世界一の杉並木の下を走り、身体と心の交流をとおり、日光市のイメージアップを図ること。
事業概要	<p>4種類のコースを設定し、それぞれ年齢・性別ごと19部門を設け、上位入賞者を表彰した。市内外のランナーを多く迎え、歴史的文化遺産である杉並木の下を走り、心と身体との交流をとおり、健康への意識向上を促すだけでなく、日光市のイメージアップを図った。</p> <p>また、大会の上位入賞者に対しては、日光市と友好都市の関係にある、韓国慶州市にて行われた大会に選手を派遣し、観光友好都市間の交流発展や観光客の増加を図る交流だけではなく、スポーツ・芸術・文化面での交流を目的に取り組んだ。(予定していた台湾台南市への選手派遣事業は中止となった。)</p> <p>◎開催日:2019年8月4日(日曜日) ・荒神橋コース(2km)・鷹の巣とりコース(3km) ・十石坂コース(5km)・例幣使コース(10km)</p> <p>大会当日には、記念グッズの配布や地域PR等を通じて、日光市の魅力を発信する取組を行った。参加賞に大会及び地域に因んだ品物を贈ることで、リピーターの増加を図った。前大会より表彰部門を増やすことで、参加意欲を高めた。</p> <p>【令和2年度】 令和元年度の実績を踏まえて、継続して実施する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位 H27年度:14位 → R1年度:10位以内【平成30年度:11位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	平成29年度	平成30年度	令和元年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第12回日光杉並木マラソン大会の開催	第13回日光杉並木マラソン大会の開催	第14回日光杉並木マラソン大会の開催		第15回日光杉並木マラソン大会の開催
事業費	9,833,814	10,341,441	11,926,015	32,101,270	12,500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	4,000,000	4,250,000	5,200,000	13,450,000	6,300,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	5,833,814	6,091,441	6,726,015	18,651,270	6,200,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一農
電話	0288-21-5147
FAX	0288-21-5137
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	日光市	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。	
単位事業名	第14回日光杉並木マラソン大会		
対象年度	令和元	年度	

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	5,200,000	大会開催費補助金、海外派遣費補助金、海外派遣2事業のうち1事業が中止(うち県費1,000,000円)
参加料	5,670,000	一般 2,000円×2,534名 = 5,068,000円 児童 1,000円×359名 = 359,000円 ペア・親子3,000円×81組 = 243,000円
負担金	0	海外派遣参加者負担金(事業中止のため0)
協賛金	130,000	協賛金
繰越金	518,613	前年度繰越金
雑収入	407,402	荷物預料54,400円、出店料42,000円、派遣事業費立替分289,230円、ゼッケン再交付代11,000円、保険料戻り金10,750円、預金利息22円
計	11,926,015	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
報償費	562,060	500,000	250,000	62,060	○謝金(婦人会、安全協会、医師、看護師)@150,050円 ○賞状製作費@314,712円 ○メダル製作費@97,298円
旅費	1,398,080	1,000,000	0	398,080	海外派遣事業旅費(韓国慶州市)@1,398,080円
消耗品費	1,733,074	1,000,000	200,000	733,074	○大会参加賞製作費@951,048円 ○スタッフTシャツ・キャップ製作費@349,380円 ○距離看板等製作費@238,680円 ○大会事務消耗品@193,966円
食糧費	534,882	500,000	0	34,882	○氷@118,584円 ○きゅうり@30,889円 ○スポーツドリンク@273,909円 ○参加者朝食代@95,000円 ○大会役員朝食代@16,500円
印刷製本費	766,260	700,000	350,000	66,260	大会プログラム印刷代@766,260円
通信運搬費	67,775	0	0	67,775	○郵券@64,800円 ○郵送料@2,975円
手数料	17,292	0	0	17,292	○クリーニング代@13,944円 ○振込手数料@3,348円
保険料	239,381	0	0	239,381	○大会参加者保険料@239,230円 ○大会スタッフ保険料@151円
委託料	6,572,603	1,500,000	200,000	5,072,603	○会場整備業務委託@199,800円 ○駐車場警備業務委託@315,576円 ○一般廃棄物収集運搬業務委託@32,400円 ○杉板賞状当日筆耕業務委託@11,409円 ○看板設置及び改修@29,892円 ○ゴミ拾い業務委託@22,000円 ○記録計測処理業務委託@3,871,526円 ○会場設営業務委託@2,090,000円
次年度繰越金	34,608	0	0	34,608	
計	11,926,015	5,200,000	1,000,000	6,726,015	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	第14回日光市駅伝競走大会
事業主体の名称	日光市駅伝競走大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長: 齋藤智明
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: 駅伝競走大会を通じ体力と健康の増進を図り、豊かな社会づくりに寄与する。 設立年月日: 平成18年10月6日 構成員等: 29名
当該事業に係る地域の現状と課題	日光市の人口は流出超過であり、大学等で市外へ出た若者がなかなか地元に戻ってきていない状況が続いている。また、人口減少と少子高齢化の影響で、地域イベントが減少していることから、市民のにぎわいが薄れつつあるのも確かである。そのため、市内各地域の自然・歴史・文化などの魅力を市内外の若者に対して発信することが課題であった。そこで、例年当該事業を開催し、徐々にその成果が表れているため、継続して事業を実施していく必要がある。
事業目的	駅伝競走大会を通して、参加者の体力と健康の増進を図りつつ、地域の自然・歴史・文化に触れることで、豊かな社会づくりと地域の魅力発信に寄与する。
事業概要	<p>【令和元年度】</p> <p>○開催日: 令和元年12月15日(日)</p> <p>○概要</p> <ul style="list-style-type: none"> コースは、一般と中学生の2コースとした。 部門は、支部対抗(一般)、オープン(一般)、中学生(中学生)の3部門で開催した。 一般の部は、支部対抗とオープンの2部門があり、市外選手やクラブ所属選手が出場可能などの規則で分けた。 各部門上位3名と区間賞を表彰した。 通算出場回数が一定を越えた選手及び監督、マネージャーを表彰した。 <ul style="list-style-type: none"> 一般の部コース 距離: 27.8km 第1区(日光運動公園)～第7区(今市運動公園) 中学生の部コース 距離: 13.9km 第1区(鬼怒川レジャー公園駐車場)～第6区(今市運動公園) <p>【KPI向上の取り組み】</p> <p>地元選手だけでなく、市外選手の積極的な参加を促すことで、地域の魅力を発信した。</p> <p>【令和2年度】</p> <p>令和元年度の実績を踏まえて、継続して実施する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる。</p> <p>【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング H27年度: 14位 → R1年度: 10位以内【平成30年度: 11位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	第14回日光市駅伝大会	第15回日光市駅伝大会	第16回日光市駅伝大会		第17回日光市駅伝大会
事業費	1,974,810	1,835,000	1,835,000	5,644,810	1,860,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,600,000	1,474,000	1,600,000	4,674,000	1,600,000
うち県交付金	767,389	737,000	0	1,504,389	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	374,810	361,000	235,000	970,810	260,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興課地域振興係
担当者名	高橋一展
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5137
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	日光市	
単位事業名	第14回日光市駅伝競走大会	
対象年度	令和元	年度
科目	精算額(見込)	備考
補助金	1,600,000	市1,600,000円(うち県費800,000円)
負担金	100,000	市体育協会100,000円
参加料	95,000	5,000円×19チーム
繰越金	79,510	前年度繰越金
協賛金	100,000	協賛金
雑収入	300	中継所役員返金
計	1,974,810	

1 収入の部

科目	精算額(見込)	財源		備考	
		市町支出額	自主財源等		
		市町支出額	自主財源等		
		県交付金			
報償費	10,000	10,000	5,000	0	救護謝金5,000円×2名
消耗品費	589,271	589,271	294,635	0	○カップ、盾、メダル作成費223,438円 ○参加賞作成費(810個)254,826円 など
燃料費	11,000	11,000	5,500	0	大会使用バイク燃料代
食糧費	230,742	65,220	0	165,522	○豚汁代43,964円 ○大会役屋食代144,400円 ○会議飲み物代42,378円
通信運搬費	63,924	63,924	31,962	0	○郵券代41,924円 ○栃木放送11,000円 ○携帯電話借上代11,000円
手数料	9,180	9,180	4,590	0	振込手数料、クリーニング代
筆耕翻訳料	8,995	8,995	4,497	0	筆耕料1名分
保険料	15,040	15,040	7,520	0	大会関係者保険料
委託料	715,000	715,000	357,500	0	○大会警備委託561,000円 ○道路規制用コーン設置委託154,000円
使用料及び賃借料	54,950	54,950	27,475	0	○大会本部用携帯電話3台4,950円 ○記録集計ソフト50,000円
備品購入費	57,420	57,420	28,710	0	防水メガホン、ストップウォッチ等
次年度繰越金	209,288	0	0	209,288	
計	1,974,810	1,600,000	767,389	165,522	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

1. 市町のみで事業を実施する場合
2. 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第14回日光杯 全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会
事業主体の名称	日光杯全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会実行委員会
代表者の名称	大嶋 一生(日光市長)
事業主体の所在	日光市今市本町1番地
事業主体の概要	<p>・女子アイスホッケー競技の普及や発展、ジュニア選手の発掘と育成に大いに寄与する大会運営を行うだけでなく、地域に愛着のある「アイスホッケー」という競技をとおして、地域振興及び冬季の観光振興を図る。</p> <p>・設立年月日:平成18年8月1日</p> <p>・構成員等:市内各種団体長等32名</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市における、冬季観光再生策の「モデル事業」の一環として位置付け、地域振興、観光振興に寄与することを目標に掲げているが、地域の魅力発信などまだまだ課題は多い。そこで、大会参加者や大会関係者等へのおもてなし事業として地元特産品を提供することで地域の魅力発信を図る。また、令和元年度よりわがまちを活用し、中学・高校生のカテゴリーで開催される唯一の全国大会として、地域の魅力発信及び競技の普及促進のため継続的に開催する。さらに、前年度よりPR方法を改めることで、更なる地域の魅力発信及び競技の普及促進に寄与する。</p>
事業目的	<p>中学・高校生のカテゴリーで開催される唯一の全国大会として、継続的な開催を行うだけでなく、競技の底辺拡大、普及強化に寄与することを目的とする。</p>
事業概要	<p>【令和元年度】 開催日:令和元年12月20日(金)~12月23日(月) 場 所:日光霧降アイスアリーナ、細尾ドームスケートリンク 概 要: ●全国を8ブロックに分け、中学・高校生混成による最大16チームにて競技を行った。 ●このカテゴリーでは唯一の女子の全国大会として実施した。 ●開会式では、地元高校生の司会による進行で、選手宣誓等を行った。 ●国際アイスホッケー連盟考案の世界共通テストである「スキルチャレンジ」等を実施し、ジュニア選手の発掘と育成に取り組んだ。 ●閉会式(兼表彰式)では、チーム表彰(優勝・準優勝・第三位)と個人表彰(大会最優秀選手・ベスト6)を表彰し、JOCジュニアオリンピックカップ大会事業 実施要項に基づき、大会の最優秀選手に「JOCジュニアオリンピックカップ」を授与した。 ●オリンピック有望選手として、最優秀選手(1名)と優秀選手(1名)を公益財団法人日本オリンピック委員会へ推薦した。</p> <p>【KPI向上の取り組み】 ・大会期間中のホスピタリティ活動及びおもてなし事業として、大会期間中に、参加選手や大会関係者等へ地元特産品を取り入れた料理を提供した。 ・新たな観客層の取り込みと競技の普及促進のため、ポスター等を市内の全小・中学校や全国各地のスケート場などにも掲示することで若年層に向けたPRを行った。</p> <p>【令和2年度】 令和元年度の実績を踏まえ、継続して実施する予定。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位 H27年度:14位 → R1年度:10位以内【平成30年度:11位】</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第14回日光杯 全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会の開催	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第15回日光杯 全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会の開催	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第16回日光杯 全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会の開催		JOCジュニアオリンピックカップ大会 第17回日光杯 全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会の開催
事業費	5,711,679	5,600,000	5,600,000	16,911,679	5,600,000
市町支出金 (ソフト事業分)	4,674,000	4,000,000	4,000,000	12,674,000	4,000,000
うち県交付金	1,500,000	1,500,000	0	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	1,037,679	1,600,000	1,600,000	4,237,679	1,600,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一慶
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5137
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
単位事業名	JOCジュニアオリンピックカップ大会 第14回日光杯 全日本女子中学・高校生アイスホッケー大会
対象年度	令和元 年度

1 収入の部

科目	精算額	備考
補助金	4,674,000	日光市
参加料	150,000	1チーム×10,000円×15チーム
協賛金	410,000	特別協賛、広告協賛
交付金	100,000	(公財)日本アイスホッケー連盟、(公財)日本オリンピック委員会
繰越金	356,663	前年度繰越金
雑収入	21,016	大会記念品販売料(大会グッズやプログラム等)、預金利子
計	5,711,679	

2 支出の部

科目	精算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	1,066,139	1,066,139	480,000	0	○協議主管料(栃木県アイスホッケー連盟)@823,500円 ○日本アイスホッケー連盟役員謝金@2,300円 ○看護師謝金@87,399円 ○大会トロフィー・メダル作製費@152,950円
旅費	462,070	462,070	0	0	○日本アイスホッケー連盟役員旅費@6,000円 ○県外レフェリー派遣旅費@263,830円 ○大会関係者宿泊費@186,240円 ○推進事業連絡会議等旅費@6,000円
消耗品費	157,980	157,980	0	0	○大会参加賞作製費@133,155円 ○大会消耗品購入費@24,825円
食糧費	380,344	380,344	0	0	○おもてなし事業(地元特産品)@90,000円 ○大会用飲料水等@290,344円
印刷製本費	534,600	534,600	250,000	0	ポスター・大会プログラム・チラシ作成費@534,600円
通信運搬費	89,721	89,721	40,000	0	郵券代、送料@89,721円
広告料	165,000	165,000	80,000	0	大会記事掲載料@165,000円
手数料	5,830	5,830	0	0	○振込み手数料@440円 ○クリーニング代@5,390円
委託料	1,000,683	1,000,683	500,000	0	○おもてなし事業委託(休憩所テント運営)@300,000円 ○ホームページ保守管理等委託@168,300円 ○会場設営等業務委託@399,300円 ○賞状筆耕業務委託@4,295円 ○会場装飾等業務委託@38,588円 ○記録写真等撮影業務委託@90,200円
使用料及び賃借料	388,500	388,500	150,000	0	会場使用料@388,500円
備品購入費	28,600	0	0	28,600	大会運営用備品・機器購入費@28,600円
次年度繰越金	1,432,212	423,133	0	1,009,079	
計	5,711,679	4,674,000	1,500,000	1,037,679	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	日光市
事業名	華厳の滝ライトアップ2019
事業主体の名称	奥日光冬季活性化推進協議会
代表者の名称	会長 星野 仁志
事業主体の所在	日光市中宮祠2478番地
事業主体の概要	・団体の目的:冬期における奥日光の活性化 ・設立年月日:平成30年7月26日 ・構成員等:中禅寺温泉飲食物産組合、中宮祠自治会、中禅寺温泉旅館協同組合、奥日光湯元温泉協同組合、中禅寺湖漁業協同組合、中禅寺レイクサービス協同組合、中禅寺湖小型船舶安全対策協議会、(株)日光自然博
当該事業に係る地域の現状と課題	奥日光地域は、中禅寺湖、華厳の滝、ラムサール条約登録地など多くの豊かな自然環境に恵まれている。しかし、奥日光地域を訪れる観光客の数は季節によって変動し、厳しい気象条件となる冬期には、大きく落ち込んでいる。そのことから、冬期(11月～4月)に新たな誘客につながるイベントを開催し、地域資源を活かした交流型の観光スタイルを推進する必要がある。
事業目的	華厳の滝のライトアップを行い、連携してさまざまなイベントを開催することで、奥日光への入込客、宿泊客が落ち込む冬期において新たな客層の誘客を図り、奥日光地域の活性化につなげる。
事業概要	【概要】 華厳の滝のライトアップを行った。地元の旅館組合等とタイアップして様々なイベントを同時期に行った。 日時:令和元年11月16日(土)～11月23日(土)8日間 ライトアップ点灯時間 午後5時～午後7時まで 場所:華厳の滝 観瀑台 来場者人数:総計7,514人 【KPI向上の取り組み】 当該事業に伴い、地元である奥日光地域の旅館協同組合、飲食物産組合などが中心となってタイアップイベントを行うことで、来訪者を地元全体でもてなした。 当事業は、初めての取り組みであるため、新たな観光コンテンツとして多くの人に認知されるために、様々な広告媒体を活用して、事業の周知を行った。 夜間イベントであることから、課題である地域資源を活かした交流型の観光スタイルの推進と併せて、滞在型の宿泊客増加を推進した。 【令和2年度】 令和元年度の実績を基に、継続して華厳の滝ライトアップ2020を開催する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	【目標】地域の活力を創出する「ひとの流れ」をつくる 【KPI】地域ブランド調査魅力度ランキング10位以内 H27年度:14位 ⇒ 令和元年度:10位以内【H30年度実績11位】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

事業内容	令和元年度	令和2年度	令和3年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業費	8,110,016	6,500,000	6,500,000	21,110,016	6,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	3,000,000	3,000,000	3,000,000	9,000,000	3,000,000
うち県交付金	1,500,000	1,500,000	0	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	5,110,016	3,500,000	3,500,000	12,110,016	3,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	日光市地域振興部地域振興課地域振興係
担当者名	高橋 一晟
電話	0288-21-5147
連絡先 FAX	0288-21-5137
E-mail	chiiki-shinkou@city.nikko.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業実績書(単位事業収支精算書)

市町名	日光市	
単位事業名	華厳の滝ライトアップ2019	
対象年度	令和元	年度

1 収入の部

科目	精算額(見込)	備考
負担金収入	5,110,000	飲食物産組合、旅館組合、日光自然博物館、日光市観光協会等
市支出金	3,000,000	日光市補助金(うち、県交付金1,500,000円)
雑入	16	利息
計	8,110,016	

2 支出の部

科目	精算額(見込)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	県交付金		
報酬	146,400	0	0	146,400	交通誘導員報酬
報償費	140,000	0	0	140,000	点灯式セレモニーゲスト謝金
消耗品費	93,773	90,000	45,000	3,773	提灯用LEDライト他
広告費	324,200	300,000	150,000	24,200	○チラシ・ポスター作成費300,000円 ○HP管理費24,200円
手数料	440	0	0	0	振込手数料
委託料	3,958,500	1,710,000	855,000	0	イベント運営費863,500円、ドローン撮影費120,000円、スチール撮影費49,500円、イベント企画1,077,500円、環境調査費1,848,000円
備品購入費	3,405,380	900,000	450,000	200,000	LED投光器171,500円×6台=1,029,000円、引込柱1台94,000円、LEDロープライト60,000円×8本=480,000円、クリップ型LEDライト4,500円×54,000円、自動点滅器82,000円他
予備費	41,323	0	0	41,323	
計	8,110,016	3,000,000	1,500,000	555,696	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合